



近鉄・大阪・奈良 編

ふちんかん

第1シーズン

大阪奈良編のスタート駅は、大阪難波駅・近鉄奈良駅・大阪阿部野橋駅から選ぶことができる。スタートを奈良にするのは論外として、難波にするか、天王寺にするか考えたが、たぶんくると一周するようなルートになるだろうと推測。最後を難波にしておけば、帰路でつぶしがきくため、大阪阿部野橋駅をスタート駅にした。



スタート駅

天王寺界隈の土地勘が無く、参加券を引き換えるメインの窓口を探すのに苦労した。

参加券をゲットすると次は2次元コードの読み込みだが、これがまた見つからない。立て看板に貼られた大きめのポスターを想像していたので、写真のようにお知らせの片隅に貼られているとは思わなかった。



目的地

さて、ようやくコードを読み込み、ルーレットが回って第1シーズンの目的駅が橿原神宮前駅に決定。大阪阿部野橋駅から27駅先にある。ただしゲーム上のマスとしては18駅。全ての駅が対象というわけではないのだ。



第1回のサイコロを振る…前に。最初のサイコロが小さな数字だと後の行程に影響がでかねない。

それを避けるため、さっそく

『ひのとりカード』を使って時短を

画策。スマホの画面上で2つのサイコロが振られる…合計…4。おい！
…第1駅は河内天美駅となった。



マイルールを追加

さて淡々と進めるのも勿体ないので、マイルールを追加して参加することにした。

- ・ 駅名板と駅舎を撮影する
- ・ 周辺を散策し、駅名と同じ看板類を撮影する
- ・ 周辺を散策し、季節を感じるものを撮影する

以前行った [大阪地下鉄 端っこ駅へ](#) というマイイベントの焼き直しである。



リアル桃鉄に参戦



第1駅「河内天美」駅



大阪阿部野橋駅から各駅停車で6駅



近くに阪南大学がある



ラーメン盛山は河内天美が本店らしいぞ(支店は?)



春っぽくなってきた

『ひのとりカード』を使ったにもかかわらず…けっきょく各駅停車に乗って6駅、まだまだ下町感の残る河内天美駅に到着。この駅はミッション駅でミッション成功、『しまかぜカード』を購入した。その後で駅周辺をさくっと回って、すぐに次へ。サイコロの目は6。各停に乗り、河内松原駅で準急に乗り換えて古市駅へ。

第2駅「古市」駅



準急に乗り換えて古市駅へ



古墳群があちこちに



近くには白鳥神社がある



椿の花はおわりごろ

ここもミッション駅で『虎につばさカード』を購入。周辺には古墳がたくさんあるが、けっこう距離があるので、近くの白鳥神社に参詣。その後、長野線が分岐する駅南側の踏切で列車の撮影した。

次の駅は当麻駅。当麻駅までの間で、大阪・奈良の県境を越える。この地域はブドウのハウスが多く、早春の陽光が白いビニールに反射して輝きキレイだった。またこの地域は二上山や「どんづるぼう」があり、地質好きにはたまらない地域である。



白鳥神社



長野線とのジャンクション

第3駅「当麻」駅



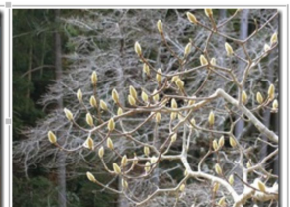
大阪・奈良の県境を越え5駅



休日の昼間は1時間に2本



駅名の由来である当麻寺へ



モクレンのつぼみ



Challenge 21



当麻駅はプラス駅だった。気温も高く天気も良いので、距離はあるが当麻寺まで歩いてみることにした。

途中に相撲資料館や、柿の葉寿司の製造販売店舗があって心引かれるが、帰路に立ち寄ることにする。

当麻寺までゆっくり歩いて20分ほど。ボタンの寺として有名で、訪れてみたかったので、良い機会となった。

当麻寺駅に到着

牡丹の名所として知られ、広大な敷地に数多くの国宝や重要文化財を有する「当麻寺（たいまでら）」の最寄駅です。また、相撲の始祖と言われる当麻蹶速（たいまのけはや）にちなみ、全国でも珍しい相撲の資料館「葛城市相撲館（けはや座）」があります。



仁王門



浄土庭園



シャクヤクの花



奥院の楼門

帰路、柿の葉寿司の店舗に立ち寄り昼食とする。



柿の葉寿司ヤマト当麻店



柿の葉寿司



出来たてなのか柔らか



べろり

その後、相撲資料館（けはや座）を見学。「けはや」とは日本書紀に記されている日本最古の天覧相撲を行ったとされるご当地人・当麻蹶速が由来。相撲の資料館は全国でも珍しいとのこと。1階中央にある実寸大の土俵は上がることができ、塩も撒ける。

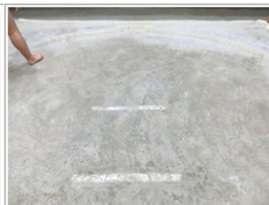
私が当麻寺を訪問中に、子供相撲が催され、ゲストで白鵬関も来ていたらしい。



実寸大の土俵に上がれる



関大と関学の相撲部の学生さんがスタッフとして来ていた



土俵に上がってみた



塩も撒いてみた

駅前には牡丹の花を型どったあんが乗った「中将餅」で有名な店がある。この餅を買って列車待ちの間に食べたかったが、けっこうな行列だったので断念。

目的地の榎原神宮前駅まで残り4となり、ここで『しまかぜカード』を使用。残りマスを確認して4を選択。ぴったりでゴール。



リアル桃鉄に参戦

ゴール「橿原神宮前」駅



橿原線の駅名板



メインでは無い方なのが
開放としていた



葉ボタン

橿原神宮前駅は、南大阪線・橿原線・吉野線が集うジャンクションである。

第1シーズンはここで終了。

ぴったり賞に加え、『虎につばさカード』で賞金が2倍となり、第1シーズンの収支は【1億9500万円】となった。



第2シーズン

さて、引き続き第2シーズンへ。ルーレットが回り目的地が決まる。といっても8つの駅のうち、4つは範囲外で、第1シーズンのスタート駅・ゴール駅を除くと、実質、奈良か難波の2択である。結果、次のゴール駅は近鉄奈良駅となった。

そしてサイコロ、こりもせず『ひのとりカード』を使って時短を画策。

スマホの画面上で2つのサイコロが振られる…
合計…5。おい！

…第1駅は笠縫駅となった。初めて聞く駅名だな。

8 A系新型車両の各駅停車に乗り5駅で到着である。

(ちなみに橿原線はすべての駅がマス目の対象になっている)



第1駅「笠縫」駅



昔ながらの駅舎



周囲は畑の住宅だけで
駅名さがしに苦労した



レンゲ畑



Challenge 21



笠縫駅はプラス駅。駅周辺は畑と住宅だけで、駅名と同じ看板を探すのにも苦労した。駅横のレンゲ畑が春らしくて良い感じだった。駅のまわりをぐるっと廻る途中、駅前後の2カ所の踏切で列車の撮影をした。

次のサイコロは… 5。天理線の分岐駅・平端駅である。

第2駅「平端」駅



筒井順慶の墓所がある



保険のつもりで撮影したがこれしか見つからなかった



ウメ、かな。

平端駅の駅名は開業時の平端村が由来で、現在は昭和町になっている。よって駅名を使った看板類を見つけるのに苦労し、けっこうな距離を歩くことになった。まあ副産物として豆腐の自販機というレアものを見つけたので、よしとしよう。

平端駅のミッションに成功し、しまかぜカードを購入。サイコロは2で、次の駅は近鉄郡山駅である。



第3駅「近鉄郡山」駅



さすがに賑わっている



大和な雑まつりイベント

近鉄郡山駅はプラス駅。さらにミッションで喫茶店に向かえという指示があったがこちらは無視した。しかし写真の駅前に指定の喫茶店の出店があったので、そこでよかったのかもしれない。

商店街では「大和な雑まつり」イベントが開催されており、あちこちのお店でひな人形が展示されていた。

さて、ゴールの近鉄奈良駅まであと6駅。ここで『しまかぜカード』を使って、一気にゴールすることにする。



リアル桃鉄に参戦

ゴール「近鉄奈良」駅



大和西大寺駅で乗り換え。近鉄奈良駅に到着し、第2シーズンはここで終了。

今回もぴったり賞+『虎につばさカード』で、第2シーズンの収支は【1億7000万円】となった。

駅周辺の商店街を巡った後、奈良公園でシカを見て、この旅は終了。



おわってみて

良かった点として、普段訪れる機会の少ない地域を巡ることができた点。周辺散策の間に近鉄電車の撮影ができたことも良かったと思う。

改善して欲しい点として、2次元コードのポスターが探しにくいこと。また目的地候補が少ない点とサイコロの目が操作されている感がありありな点。システムはもう少し上手にやってほしいと感じた。最後に近鉄版はフリー切符のフィーが高すぎると感じる。東武並みとはいわないが、できれば3000円くらいにできないだろうか。あるいは関連する支線くらいは乗れるようにしていただけると、乗りつぶしに使えるので少しは割高感が薄れるかもしれない（私だけか？）。

以上、不満が多い書き方をしてしまったが、イベント自体はとても楽しいもので、参加して良かったと思う。



ちなみにこのあと痛風の大発作が生じ大変でした…

(了)